

部活応援隊が行く!!

暁高等学校 体操部

民間クラブとの二人三脚で常勝校を目指す

全国大会の優勝者を輩出し強豪としても知られる暁高校体操部。4月の三重県高校総体春季大会では男女ともに団体優勝を成し遂げました。

Q1 部活の魅力は？

A1 (梅村部長) 部員が同じクラブチーム(相好体操クラブ)に所属しているため、互いを理解しておりチームワークに優れているところです。

部長 梅村 雷東さん
(3月65さい)

Q2 部長として心がけていることは？

A2 (梅村部長) 部員に対して的確に指示を出すよう心がけています。



Q3 部の強みは？

A3 (梅村部長) 苦手の種目をみんなで補い、声出しをしっかりとすると活気のあるチームです。(石原先生) 小学生の頃から相好体操クラブに所属するなど皆が顔見知り。とてもいい雰囲気を保っています。



Q4 現在の目標は？

A4 (梅村部長) 6月の県総体を通して、インターハイでは男子は8位入賞、女子は3位入賞が目標です。



(石原先生) 県総体で団体・個人とも東海大会への出場枠を獲得し、全国大会へとつなげていきたい。男女ともにインターハイ入賞が目標。今年の目標を達成し、その姿を後輩たちに見せてほしいです。

二次元コードを読み取ると体操部のコメントが見られます。



Q5 今のチームの課題は？

A5 (梅村部長) ミスが出たあとにベースが崩れていってしまつところ。点数を落とさない安定的なチームにしていきたいです。



顧問 石原 大先生

Q6 部活を通じて、これから先生が取り組んでいきたいことは？

A6 (石原先生) 一つの目標をみんなで見つけていくのが部活動の醍醐味。自分自身やチームの目標をどのように達成するのか、うまくいかないときはどのように解決していくのかなど、技術だけでなく、人間力の成長をサポートしていけたらと考えています。暁高校体操部は、民間のクラブと高校が二人三脚で活動している全国的に珍しいケース。そのようなチームが全国で常勝校になることで新しい風を吹かせたいですね。少子化が進み、体操部の数も減る中、部を存続させながらどんどん高みを目指していきたいです。

